

第4回森と水の源流館授業づくりセミナー 概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 2022年9月3日(土) 10時～12時
- ◇方法 ZOOMを用いたオンライン研修
- ◇参加者数 14名
- ◇内容 ESD学習指導案の相互検討会

1. 平城小学校4年生 ESD・国語 村上先生

「ゆかし里に流れる秋篠川の魅力を発見し、川柳で未来へつなげよう」

川柳を用いて自分の思いや考えを発信させる

(1) 学習の流れ

1学期 秋篠川の調査 秋篠川に入って、五感で感じたことを川柳で表現した

2学期 9月13日に川上村の音無川を調査予定 → 川柳で思いや考えを表現する

「音無川の方がきれいだ」(予想)

→ 川がきれいというのは、ゴミを捨てないだけでなく、森を守ることの重要性を伝える
わりばしや端材の活用は、林業を通じた経済と環境の調和を促す取組でもある。

→ 端材をつかってカルタづくり

屋久島の小学校とも交流

3学期 地域の大人にも呼びかけ、秋篠川をテーマとした川柳によるカルタの製作

秋篠川カルタ大会

(2) 意見交流

①語彙力の向上について

加藤先生より：語彙力を高めることにも留意してほしい

語彙とはワードとボキャブラリー

言葉の意味の違いや使い方の違い(差異性)を意識し、選択して使うことができるということ。それができると、比喩的表現や換言に発展し、表現力のUPにつながるだろう。

村上先生より：子どもたちはあまり言葉を知らない。それは体験が少ないからだと考えた。体験することは、語彙を増やすことになるのでは。ヒトは目で見たものは言葉にしやすいが、においや音などは言葉にしにくい傾向がある。においや音を言葉にするワークシートを用意し、体験を通して五感から語彙を増やしたい。

加藤先生より：体験の裏付けのない言葉は意味がない。意味は体験だと言い切っている。

②学校間交流について

新宮先生より：屋久島の小学校が川柳に取り組んでいるかわからない。村上先生が交流授業で川柳の指導を行い、平城小の児童の作品を紹介することで、子どもの意欲が高まるのではないかと。

大西先生より：屋久島の小学校は環境学習に熱心だ。屋久島の小学校は川柳でなくて、自分たちの表現でいいのではないかと。そこから平城小の子どもたちが学ぶことも多いと思う。

③川柳とESD

・俳句は自然環境などを詠むことが多いが、川柳は自分の思いや出来事を表現することが多い。ESD

にはちょうどいいのではないか。

・川柳では、「伝えたいこと」を明確にすることが大切なので、ESDにはよい表現方法だ。

新宮先生より：インタビュー調査などを繰り返すことで、子どもの川柳がどのように変化していくか、興味がある。

④学習の流れについて

・中・長期的なプランに基づく学習の流れの軸がしっかりしている。オノマトペの学習や語彙力の学習、森林環境学習、生物多様性の学習、人々の営みのインタビュー調査など、多様な学習に展開できると感じた。

2. 田原本小学校 4年生総合的な学習 中本先生

「めぐる、めぐみ。」田原本町を潤すわたしたちの水」

森と水の源流館のポスター「めぐる、めぐみ」に着目した。

(1) 学習の流れ

1学期：社会科 「くらしを支える水」浄水場の働き、上水道について学習済。

森と水の源流館、大滝ダムを見学

2学期：田原本を流れる寺川について

寺川のイメージ 汚い、遊べるわけない、でも生き物もけっこういる
水道水は寺川の水を浄水場できれいにしている。

水の飲み比べ

水道水と源流館のペットボトル水を比べる

「においがしない」「甘いかんじ」「おいしい」

寺川はなぜ、薬を入れないといけないのか？寺川をきれいにしたい。

音無川（川上村）散策を計画中←源流館支援

寺川の調査も計画中←奈良県環境アドバイザー谷先生に依頼

保護者にもアンケート調査を行う。

社会科・吉野川分水の学習

田原本町にはため池が多い。これまでの水に関わる苦勞（水争い）など、歴史にも着目

→ 田んぼも川も、そして自分たちも「地域の宝」であることに気づかせたい

→ ポスターの作成へ

(2) 意見交流

①「めぐる、めぐみ」

何がめぐっているのか。めぐみとは何かを、子どもたちに問いかけて展開して行ってほしい。とらえかたによって、「水」であったり、「命」であったり、「産業」であったりと、多様に展開できる。それらと自分たちの生活とのかかわりに気づかせることが、行動の変革を促すESDになっていく。めぐらないものにも気付かせたい。

「めぐる、めぐみ」に戻っていくことが大切。めぐみは地域でもあり、人でもある。

尾上さんより：「めぐる、めぐみ」は、どうつながっているのかを考えるために作成したコピー。いろいろなつながりに気づいてほしい。

②学校間交流について

福岡県の玄海島には浄水場などの施設がなく、福岡から水を送ってもらっている。水が当たり前の

ように使うことができる学校と玄海島の学校で交流することで、クリティカルに考える機会になる。

③その他

鍵・唐子遺跡が近い。2000年前の川の様子と比較してもいい。それは6年生の社会科の学習にもつながる。

次回は2月11日（土） 実践交流会をハイブリッドで開催する。ぜひ、参加していただきたい。